

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 29 日

評価対象事業	評価者	総務課 担当課長	三上 周二
総務-05 統計事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	総務課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針
		行財政運営	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の利用や、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
効果	市民等に情報提供をし、各種施策の基礎資料として利用する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>統計調査を行うための基本的な管理事務を行った。</li> <li>ホームページや、オープンデータを活用し、統計情報を提供した。また、統計書の発行を行った。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備考
人口等のデータ	人口	177,464人	人口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,368世帯	世帯数	80,928世帯	
	事業の対象者数				
運営資源状況	決算値(千円)	2,172	3,554	当初予算(千円)	2,445
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他	10	8	その他	8
	一般財源	2,162	3,546	一般財源	2,437
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	0.6
事業経費運営	人件費(千円)	7,569	7,914	人件費(千円)	4,607
	総事業費(千円)	9,741	11,468	総事業費(千円)	7,052
	市民1人当りの経費(円)	55	65	市民1人当りの経費(円)	40
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	統計調査員の確保及び統計情報の提供をするため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	引き続き調査員の確保に努めていく。各種統計データの提供手段としてホームページやオープンデータの活用をし、統計書として「鎌倉の統計」を発行した。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	各種統計調査を円滑に実施するため、登録統計調査員の確保に努める。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	統計調査員への登録を各種統計調査経験者へ依頼し、17名の新規調査員の登録を行った。また、今年度より公募での申し込みの国勢調査員は面接を行い、調査員の心得や誓約事項の確認を行い、資質向上に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	継続して統計調査員の確保に努め、資質向上を図る。統計情報を速やかに提供する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	オープンデータの推進								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	×	○	○	○	○
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	公表可能なデータについて順次掲載を行う。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---